－奥秩父　滝川水系－

# 「豆焼沢」

０９年５月３０～３１日

Ｌ 白土　後藤　西村（文）

春の沢集中の為のトレーニング山行として奥秩父の名渓、豆焼沢を遡行することになった。道の駅「みとみ」で前夜泊。天気が思わしくない。

30 日、朝から雨。とりあえず豆焼橋出会いの丘 P まで移動する。雨は時々ぱらつく程度になる。6：30 入渓、水量は思ったより多くなく行動に支障はない。

しばらく行くと出ました 25m2 段ホチの滝とその真上にかかる雁坂大橋。美しい滝と不釣り合いな巨大な人工物の奇妙な光景に何とも言い難い滑稽さを感じた。ホチの滝は右岸を大きく巻く。橋の下はゴミだらけで、滝の上に出るとトンネルから出る巨大な排水パイプが轟々と水をはき出していた。

小ゴルジュを抜け 5m 前後の滝をいくつか越える。ナメ滝を越えてしばらく行くと右壁にスリングを２本垂らした 8m 程の滝に行き着く。ここで初めてザイルを出し左を巻くように 1 ピッチ登る。2 ピッチ目は巨大な倒木の下をくぐり左の小スラブを攀じる。ランニングが取りずらくホールドがほとんどないこのルートを白土さんは見事に突破した。後に続いた私は言うまでもなく A０で登る。

しばらく遡ってようやく 50m 大滝に達する。今回の遡行で一番楽しみにしていた光景だ。期待に反せず大きなスケールと美しい水流を私たちに見せてくれた。この大滝は右岸を巻いて落ち口に出る。続く 5m 二条滝、19m4 段滝は左岸を巻く。

13:00、標高 1540m のビバーク予定地点に到達。念のため上流を偵察したがここが適地と判断しザックを下ろす。薪を集めタープを張り終えたあたりからポツポツ雨が降り始め、暗くなる頃には本降りとなった。

31 日、曇りのち雨。4：30 起床。昨夜の雨もきれいに上がり日も差している。悪天候を予想していたので思わぬ好天にうきうきする。ビバーク地を後にしてすぐに 8m ナメ滝が現れ、しばらくして期待の 60m の大ナメ滝となる。ここは左から 20m２段のスダレ状滝が出合い、左右対称の美しさに感嘆する。2 つの滝が作り出すこの美しい光景に私はしばらく浸っていたかったが、白土・後藤両氏とも私ほど感動した様子はなく、スタスタ先に行ってしまった。あ～、じっくり観たかった。

標高 1850m 地点で二股を左に取り、雁坂小屋へと続く登山道を目指す。金属製の大きな取水口が現れたら、そこが登山道。踏跡が不明瞭でうっかり行き越してしまった。30 分のロスタイムだったが無事下山にかかる。

＜コースタイム＞

豆焼橋 6：30～ビバーク地点 13:00

ビバーク地点 6:50～登山道 8:30